



みさき

31号

美咲町議会だより



主な内容

12月補正に6億円を追加
災害復旧事業費に5億5千万円を確保

各議員から数多くの政策提言

議員14人が一般質問

連載企画 どうなった??あの質問

4

8~21

22

向け取り組みを強化

確保など、山積みの課題にスピーディーに取り組んでいただきたい。また、領土問題は外交努力を積み重ね、平和的解決に努力を願うものであります。

本町においても行政課題は財政改革であります。農業を守り、商工業の振興、少子高齢化対策、地産地消のエネルギー開発などに一つ一つ取り組まなければなりません。

私たち議会も、議会基本条例に従い、議会報告会はもとより、積極的な政策提言を行ってまいります。

本年が、町民皆様にとりまして、最良の年でありますよう、ご祈念申し上げます。



年間の主な活動

平成21年度

- 議会議員選挙が行われ16人の議員が誕生
- 役員が選任され、三船議長・下山副議長体制でスタート
- ごみ処理・協働のまちづくりについて香川県および広島県を全議員が視察
- 中央中学校建設特別委員会を設置
- 全国の9町議会から延べ60人の議員が美咲町を訪れ、議会だよりの視察を受け入れる

平成22年度

- 各委員会が新潟県、兵庫県、広島県、鳥取県を視察
- 美作地区町議会議員交流会が実施され、以降毎年開催される
- 議会の在り方を問う議会改革特別委員会を設置
- 民生教育常任委員会が議会初となる陳情審議の参考人招致を実施

積極的な政策提言に



議長年頭所感



三船勝之 議長

平成25年の新春を迎え、議会を代表してごあいさつを申し上げます。

平素は行政推進と私たち議会活動に対して、ご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、年末に衆議院解散総選挙があり、新しい政権が誕生しました。

新政権への期待として、まずは景気回復、そして、デフレ脱却、TPP参加問題、電力の安定供給

美咲町議会 4

平成23年度

- 役員改選により、三船議長・岡田副議長の新体制で再スタート
- 震災の炊き出し支援隊活動に関する百条委員会を設置
- 教育・まちづくりについて大分県を全議員が視察
- ニュージーランド・テムズ町への国際交流調査団を派遣
- 議会改革特別委員会が議会初の公聴会を開催

平成24年度

- 各委員会が福岡県、三重県、徳島県、高知県、東京都を視察
- 県内の町村では初となる議会基本条例を先駆けて制定
- 議員定数・報酬等特別委員会を設置
- 町内5会場で第1回美咲町議会報告会を開催

12月定例会の報告

12月4日から
12月18日まで

定例会が招集され、24年度一般会計など補正予算9件、専決処分1件、条例5件、その他3件、請願・陳情・要望5件などの議案が上程された。

条例の制定

条例の制定が上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

◎美咲町史編さん委員会設置条例

美咲町史発刊に向けて、編さん委員会を設置するための条例を新たに制定する。

◎美咲町愛育委員会および栄養委員会設置条例の一部を改正する条例

美咲町愛育委員および栄養委員の任期は現在3年と定められているが、これを2年に変更する。

◎美咲町農村型リゾート「南和気荘」設置および管理に関する条例の一部を改正する条例

南和気荘へ新たに設置された「パン工房」を追加して管理を行う。

議員発議

少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

社会の基盤づくりにつながる子どもや若者の学びを支援し、きめ細かな対応を図り、人材育成から雇用の拡大へつなげていくためには、30人以下の少人数学級の推進と教育予算の拡充は不可欠である。

この内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

補正予算

一般会計へ

6億円の増額を

可決

一般会計歳入歳出に六億七百三十三万円を増額し、総額を百二十二億九千九百九十九万円とし、8特別会計歳入歳出に合わせて一億四千五百七十万円を増額とするもの。

一般会計、8特別会計ともに全会一致で可決、承認。

◎一般会計補正予算

【主な歳入】

☆町税

八千八百七十九万円

☆国庫支出金

一億五千六百

六十万円

☆県支出金

二億千九百

九十三万円

☆繰入金

△三千万円

☆町債

一億六千二百

四十万円

【主な歳出】

★介護保険会計繰出金 千六百五万円

★小規模土地改良農道舗装事業費 二千二百三十六万円

★農地災害復旧事業費 一億七千五百

七十万円

★農業用施設災害復旧

事業費

一億百四十三万円

★公共土木施設災害復旧費

二億七千三百

十六万円

★旭地域消防機庫ほか事業費

三百万円

★予備費

七百八万円

◎特別会計補正予算

◇介護保険事業特別会計 一億六百五十万円

★介護サービス給付費 ※国民健康保険事業特別会計など7特別会計については、事業費の調整

費の調整



おいしいパンができました『学校のパン屋さん』

請願・陳情・要望

敬称は省略させていただきます。

少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の請願

〔紹介議員：岩野正則〕

〔民生教育常任委員会付託〕

岡山県教職員組合

久米・苫田支部

支部長 福田積萬

子どもたちが学ぶ教育環境の充実は重要であり全会一致で採択とした。

介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情

〔民生教育常任委員会付託〕

岡山県医療労働

連合会

執行委員長

福田幸恵

介護に従事する職員



きめ細かい指導には少人数学級が必要

の待遇を改善し、高齢社会へ向けた取り組みは非常に重要である。しかし、現時点においては社会保障制度の見通しが不透明であり

全会一致で趣旨採択とした。

災害対策助成の拡充に関する陳情

〔産業建設常任委員会付託〕

美咲町和田北地区

区長 竹中伸弘

既に助成した箇所

〔産業建設常任委員会付託〕

美咲町猟友会

会長 森本一雄

有害鳥獣による被害防止には、行政も積極的に支援する必要がある。全会一致で採択とした。

商工業振興事業補助金の予算措置に関する要望

〔産業建設常任委員会付託〕

久米郡商工会

会長 西本和馬

地域経済活性化の必要性を認め、全会一致で採択とした。

対して再度の助成が妥当かどうかの議論があり、有害鳥獣の駆除に対する自助努力に期待し全会一致で趣旨採択とした。

鳥獣被害対策実施隊の設置に関する要望



拡大の一途をたどる獣害被害 急がれる対策

人事案件

◎人権擁護委員の選任

人権擁護委員の任期満了に伴い委員の選任に同意した。

美咲町打穴下

黒瀬 絃子氏

(再任)

美咲町原田

岩本

広子氏
(再任)

美咲町周佐

井口

順壹氏
(再任)

指定管理委託料 積算根拠の整合性を

総務常任委員会に付託を受けた予算2件、条例5件について審議した結果、全議案を承認した。

ただし、柵田公園指定管理料金の積算根拠における他施設との整合性および町有財産へ

の災害防止に向けた管理強化を検討すべきとの意見を付す。

■主な質疑応答

【総務課】

問 打穴上地内で発生した民家火災の消火活動で消防ポンプ

に不備があった。原因は。

答 ポンプ内部に異物が混入したことが原因だった。通常ではあり得ないことであり、一層の機械点検で再発を防止する。

【企画財政課】

問 入札における最低制限価格の設定方法は新しい方式に変わったのか。

答 県の方式を参考に新たな方法を導入している。

【情報交通課】
問 デマンドバスへの取り組みは進んでいるのか。

答 来年度に旭地域で試験的な導入を実施する方向で検討中。

◇現地を確認

議案審議に関連して
☆旭地域に新設された消防機庫

☆大坪和柵田公園

☆打穴木工所

☆柵原地域町有財産災害状況

☆柵原南和気荘パン工房などを視察



打穴幼稚園の跡にできた木工所を視察

民生教育常任委員会報告

広域入所保育園 運営費に613万円

民生教育常任委員会に付託を受けた予算3件、請願・陳情など2件について審議した結果、予算は承認、請願は採択、陳情は趣旨採

択とした。

■主な質疑応答

【住民課】

問 保育園広域入所の現状はどうなっているのか。

ているのか。

答 町外の私立保育園11園と公立保育園7園に51人が広域入所している。今回の補正予算六百十三万円は年間運営費の不足分である。

おおよび保護者と協議し、送迎時には、申し合わせによる一方通行としたい。

また、両保育園ともに道路拡幅などで対応する。

【教育総務課】

問 25年1月から放送予定の「みさきっ子テレビ教室」とはどんな内容なのか。

答 「みさきっ子テレビ教室」は平成



加美児童館に設置される駐車場予定地を視察



獣害被害の防止策を視察 (和田北)

産業建設常任委員会報告

災害復旧事業費に 5億4900万円を追加

25年1月7日から放送開始予定。
にテキストを配布する。

◇現地を確認

まず小学校の算数、中学校の数学に対するポイント学習および学校紹介を行う。
また、全児童・生徒

議案審議に関連して
☆加美児童館の送迎用
駐車場予定地を視察

産業建設常任委員会

に付託を受けた予算6件、陳情・要望など3件について審議した結果、予算は承認、陳情は趣旨採択、要望は採択とした。

■主な質疑応答

〔上下水道環境課〕

問 太陽光発電システム設置補助金の総額は。

答 昨年度の実績では五百万円の支出となった。

〔産業観光課〕

問 獣害対策に使用される電気柵の耐用年数は。

答 約5年程度を見込んでいます。

〔建設課〕

問 今回の補正予算には総額五億四千九百十万円の災害復旧事業費が計上されている。年内にはすべて工事発注できるのか。

答 6月に発生した災害分は全部発注できると思う。残りは年明けに発注する。

◇現地を確認

議案審議に関連して
☆和田北獣害防止施設
☆久米南町獣害防止施設などを視察

議会運営委員会報告

鹿児島県南大隈町

議会が視察に来町

11月19日に鹿児島県南大隈町から議員16人(全議員)が議会改革の取り組み状況を視察

する目的で来町された。本町と南大隈町は、共に平成24年度で議会基本条例を制定してい



議会改革について真剣に議論

る。
この条例に基づいた公聴会、議会報告会などの実施状況について、資料をもとにそれぞれの説明を行い、2時間にあわたり熱心な質疑応答が行われた。議会改革の重要性の認識を新たにし、双方の活発な活動を期して終了した。

問

う

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

河川災害防止への 対策を急げ

現地を確認し

随時行っていく

答弁



草苺良明 議員

問

土砂の堆積で川底が高くになり、集中豪雨、台風による被害が発生した。

県と協議し、早急な対応を望む。また、町対応区域も年次的に取り組みができないか。自主防災の推進にもなるが。

答

池本建設課長

県・町河川ともに、要望書により現地確認し、除去している。

答

清水柵原総合支所産業建設課長

先般、県が甲・乙和

気川と本山川の現地確認をした。急を要する箇所から予算の範囲で工事ができると期待している。

答

定本町長

記録的豪雨によって原田地区では床上浸水が20カ所あった。随時、除去する。また、緊急性があれば町単独でも行っていく。

月の輪古墳

60周年を歴史的 行事に

問

美作国建国1300年の10市町村による記念行事の計画を聞く。

月の輪古墳も60周年であり、歴史的な行事となるよう取り組みが



集中豪雨に備えて河川改修は急務（本山川）

できないか。

答

矢木産業観光課長

現在のさくらまつり、夏まつり、ぼっぽまつりを冠事業（協働事業）として1300年の取り組みをした

答

山下生涯学習課長

月の輪古墳60周年は、飯岡地区の実行委員会のもとに進めていきたい。

答

定本町長

地元で月の輪古墳発掘60周年行事が8月14日開催で行われる。町としても少しでも支援ができればと考えている。

新保育園周辺の 安全対策は

問

新しく始まる柵原西・東保育園登園時の車の混雑が心配だが、安全対策はどう

答

新しく始まる柵原西・東保育園登園時の車の混雑が心配だが、安全対策はどう

答

中西柵原総合支所長

東保育園には、12月にカーブミラーを設置する。

西保育園には道路拡幅も予定している。

両園とも、一方通行など試行しながら保護者と決めていきたい。

ラジオ体操の 放送再開を

問

町民からラジオ体操放送再開の要望がある。町民の健康のため、放送の再開を望む。

答

山下生涯学習課長

放送について実施したアンケート結果をもとに、放送内容を検討している。

答

定本町長

来年の夏休みに放送する。

また、8月1日を記念日として健康増進などのイベントを考えている。

町政を

質問

いじめの現状と対応は

継続的な指導により

解消している

答弁



下山和由 議員

問

いじめ、校内暴力などの報告が新聞紙上でも度々報道されている。中には、自殺者も出るなど重大である。校内暴力を含め、その実態について本町ではどの程度報告を受けているのか。

また、全国学力テストの結果は、岡山県は下位にあると聞く。今後の対応、取り組みについてどう考えているか。

答

泉教育長
本年度は、町内

図りながら、支援・指導を徹底していく。

滞納金 さりなる

徴収努力を

問

9月定例会で23年度決算報告が提示されたが、あまりにも滞納額が多過ぎる。新年度に向けて納付義務がある者に対しての徴収を厳格に願いたい。今後、滞納者へどのような対応を考えているか。

答

鳥越税務課長

滞納者には催告を行い、自主納付を促している。それでも納付がない場合は岡山市町村税整理組合に徴収依頼し、差し押さえなど行っている。また、岡山県滞納整理推進機構などへ一部徴収依頼し、強力な差し押さえも行ってもらっている。

答

高田住民課長

町営住宅、保育料、老人居室一般高齢者住宅については、滞

納者の把握と文書による納入推進をお願いしている。

投票所の案内に

配慮を

問

県知事選挙において、旧投票所から新投票所間でバスが運行された。有権者に喜ばれたが、案内の方法にさらなる改善と投票所の統廃合により生じる問題に配慮を望む。

答

長

岡田選挙管理委員

旧投票所から新投票所の途中での乗降は選挙違反になる。多くの人に投票に参加してもらえよう、のぼりの設置、告知放送、広報紙などにより、啓発を行っていく。

答

定本町長

投票所の統廃合は、合併以来の懸案事項であり、行財政改革の一環でもある。



投票所への交通手段の確保は大変

専門家による 設計チェックを 現行の手順で 問題ない



日神山定茂 議員

問 現在、町内には学校その他公共建築物が多くあるが、築後必要以上にメンテナンスの費用と手間がかかっている建物もある。建築前にチェックできれば維持費が削減でき、職員の手間もかからない。

デザイン重視、実績のない新しい建築工法の使用など築後数年で雨漏りや寿命の半分程度で全面建て替えをした町外の話聞く。必要な改修・メンテナンスは大きな無駄である。

現場では、設計者の考えは大きな影響力をもつため、工事の発注前に設計チェックができる町長の諮問機関を設置してはどうか。

答弁

答 定本町長
建設業協会から要望も出ているが、信頼のあるところに依頼しなければならぬ。現在は、県の建築指導課と資格のある職員に管理させている。

問 現実的に不備がある。今までのチェックでは不十分だと思うが。

答 定本町長
設計業者もしっかりとしており、町の建築士が指導しながら現場は進んでいる。問題はないと考えている。

素晴らしい校風 を次の世代へ

問 104年の歴史のある学校から、統合して7年の新しい学校までさまざまな学校の歴史があり、あいさつや行事など、それぞれの素晴らしい校風がある。この歴史をどのように次へ伝えていくのか。

泉教育長

答 昨年制定の美咲町教育振興基本計画に基づいて、小学校ではあいさつ運動や他人を思いやること、少々のことに負けず最後まで頑張ることを目標にしている。中学校では、自主・錬磨・創造・敬愛など崇高な理想を掲



デザイン重視ではあとの管理が大変

国道53号バイパス 早期開通を

問 津山市中島から打穴中まで用地買収が行われている。打穴中以南の計画について、町は今後どのように進めていく考えか。県北美咲の悲願である。積極的な対応を望む。

答 池本建設課長
津山市の用地買収率が57%、美咲町が36%である。関係市町と国土交通省で月1回定例会を開催し、事業の進め方を協議している。

岡山市北区御津宇垣から打穴中までの早期事業着手を目指し、各機関へ陳情、要望している。

答 定本町長
美咲町にも必要な道路である。今後も鋭意努力していく。

げて継続した指導をしている。

子どもを取り巻く教育環境の変化に具体的に対応し、家庭を含めて十分協議しながら進めていく。本当に大切なものを受け継いでいくシステムを続けていきたい。

雇用の拡大に向けた町の取り組みは 臨時雇用などで 雇用創出に努力

答弁



角南憲一 議員

問 美咲町の雇用情勢をどのように把握しているのか。

答 遠藤企画財政課長 ハローワークから求人情報がファックスで送信されている。本庁と各支所に置いてあり、誰でも見ることができ。

問 緊急雇用創出事業でどの程度の雇用が確保されたのか。

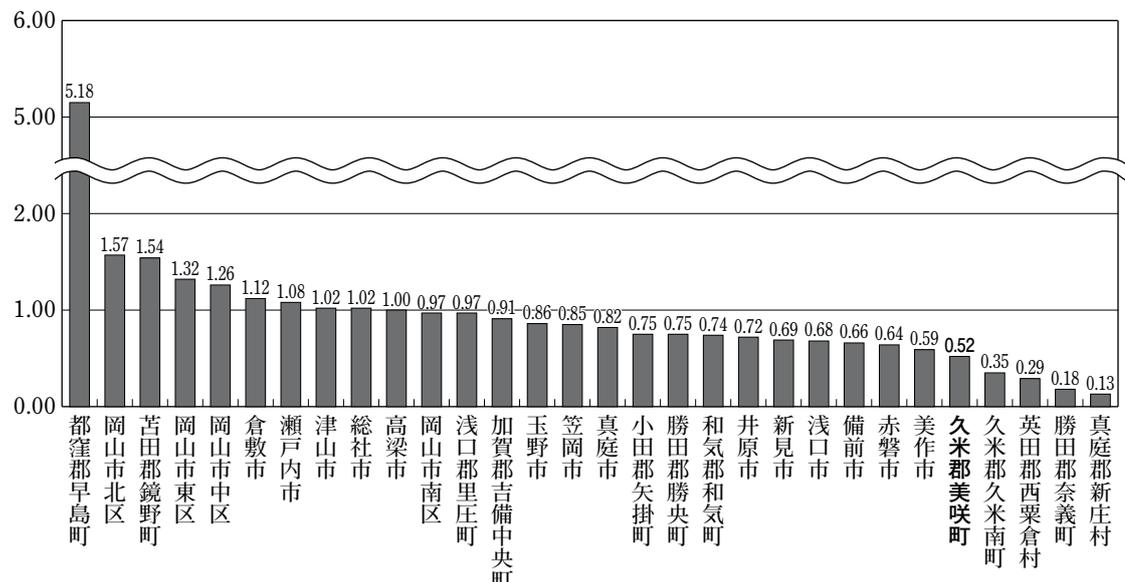
答 遠藤企画財政課長 昨年度は、11の事業で新規雇用者が38人。本年度は、7事業で15人が新規雇用者である。

問 新規就農者の現状と見通しは。

答 矢木産業観光課長 本年度は、前期4組5人、後期9組13人がピオーネの展示圃

場を見学した。このうち1人が25年4月から美咲物産で2年間の研修を受ける。後期では2人が就農を希望している。

問 求職中の生活保護受給者数は。
答 福田保健福祉課長 まず、受給者は、



24年6月末で101世帯、126人。このうち求職中の被保護者は10人で、ハローワークに登録し、支援をしている。

かには疑問もあるが、他の町村より保育士は優遇している。

問 学校関係の雇用形態の現状は。

答 泉教育長 週何時間という臨時雇用は、各小学校に1人。中学校は教科担任制であり、不足する教科と生徒数に合わせっており、全体で13人。1年限りの臨時雇用が小学校に8人である。

問 25年4月に正規と非正規の格差を禁ずる改正労働契約法が施行される。ただし、公務員は対象外となっている。どのように対応するのか。

答 定本町長 嘱託、臨時職員は、1年契約が本来の姿だが、継続的に雇用されているのが町村の実態である。十分な身分保障と言えるかどうか。

問 公用車の安全管理にどう対応しているか。

答 鈴鹿情報交通課長 特殊車を除き、職員が日常的に業務に使用している公用車は、本庁、支所、保健センター70台。公用自動車管理規定に基づき、適正な管理および効率的な運用と交通規則遵守と交通事故の防止を図っている。

問 事故車の修理費を保険請求していないのはなぜか。

答 定本町長 事故の申し出がなく、公費で支払うわけにはいかない。町職員全員で清算をした。使用簿の記載を厳格に行うなど、意識改革を徹底したい。

公用車の管理体制は

質問

総合支所でも
パスポートの手続きを

諸々の問題点があり
現状を維持する

答弁



松田英二 議員

受理されたパスポートの件数は1527件。平均すると1年間に約250人が手続きを行っている。

問

平成18年の旅券法改正以降、パスポートの申請・発給手続きは岡山県から各市町村に権限が委譲された。

これにより本町でも平成18年10月から役場本庁舎でパスポートの手続きを行っているが、これまでに受理された件数は何件か。

また、申請と受領は代理人でもできるのか。

答

高田住民課長
平成18年から平成24年までの6年間に

申請は代理人でも可能だが、受領は必ず本人でなければならない。

問

本町では国際交流基金条例を制定して三千万円の基金を積み立てている。この目的は何か。

答

遠藤企画財政課長
今年12人の中学生がニュージーランドでホームステイを体験した。これを10年間継続させるための基金である。

問

現在、旭・柵原地域の中学生や高齢者がパスポートの手



海外では命の次に大切なパスポート

続きをする場合役場本庁舎に向かなければならない。

総合支所とは、役場本庁舎と同等の機能を有する支所と定義されている。であれば、パスポートの手続きは各総合支所でも行えるようにするべきではないか。

答

定本町長
パスポートの手続きには専門的な知識が必要となる。また、経費の面においても百

三十万円程度の費用が必要となる。このため現状を維持する。

ごみ処理に
対する意識変革
が必要では

問

津山圏域資源循環施設組合が計画している新しいごみ処理場建設の動きが活発化してきた。順調に推移すれば平成27年12月には稼動する見込みだ。

答

新ごみ処理場が稼動した後、本町のごみ処

理方法はどうか変わるのか。

答

赤堀上下水道環境課長
ごみの分別方法、ごみの収集方法、ごみ袋の統一化などについて、組合に加盟する各市町の担当課長で現在協議中である。結論が出るには今少し時間がかかる。

問

旧柵原町では、平成7年に町制施行40周年記念で「粗大ごみ無料収集事業」を実施した。

ごみ処理に対する住民の意識変革を図る為には、町内のあらゆる団体に協力を求め、大掛かりなことを実行するのにも一案と考えるがどうか。

答

定本町長
新ごみ処理場が稼動する1年前には、あらゆる啓発活動に努め、周知徹底を行った上で意識の統一を図っていく。

質問

成人式開催通知は

1年前に

できるだけ

早めに通知する

答弁



梁山朝子 議員

問

成人式は夏開催であったが、23年度から冬開催になった。成人式の本人通知は1年前には行うべきではないか。

答

山下生涯学習課長 本年度の新成人を対象にアンケートを実施した。日曜日希望が60%を占め、本年度は1月13日に決定した。美咲町の未来を担う新成人の門出を町民こぞって祝福し、成人としての自覚を促すとともに、未来の幸せを

祈念したい。

来年度以降も成人の日の前日に開催する予定にしており、できるだけ早めに通知する。

主要行事の年間カレンダー作成を

問

三大イベントの日程を早期に決定し、年間行事カレンダーの作成を望む。

学校行事は早くから年間計画が示されている。情操教育上大切であるため、子どもたちの参加できる日を選ぶべきである。教育の視点を踏まえて子どもたちの心に残る楽しい思い出となるよう配慮が必要である。

年間の見通しが立つことで、多くの町民の参加につながる。多数の町民参加で、イベントを盛り上げ、美咲町の一体感がより強まることを切望する。

答

定本町長 年間カレンダーを作成すると、訂正できないため美咲町では発行していない。春のさくらまつりは、天気予報や開花状況により、商工会が日にちを決める。

夏まつりは、8月13日ではぼ決定している。秋のぼっぼまつりは、前年度末までの決定を実行委員会に申し入れている。

各種イベントへの参加は、子どもの情操教育上必要だと考えるが、今年度のぼっぼまつりは、調整できなかった。

柵原鉱山資料館のPRに努力を

問

東洋一の硫化鉄鋼を誇る柵原の歴史を受け継いでいく必要がある。

柵原資料館には、昭和30年代の鉱山の状況が盛りこまれ、凝集されている。郷土の誇りを子どもたちに継承し、後世に残す貴重な資料館であり続けるべきである。

答

定本町長 柵原鉱山資料館のさらなるPRに努め、パンフレットの更新もじっくり研究する。

きである。

美咲町を離れた人がふるさとを懐かしんで帰って来られるためにも、また観光面からもパンフレットを現状に合わせて更新し、PRに努めるべきである。



大切な資料が生きるように対策を (柵原鉱山資料館)

行政懇談会は 毎年開催すべき 4年間の成果を 報告したい



松島 啓 議員

問

地域行政懇談会が町内5カ所で行われ、多くの町民が参加された。

①4年間の実績報告が主で今後の町の方針、方向性が具体的に示されなかった。今回の懇談会での意見なども含めて来年度の予算編成方針をどう考えているのか。

②議会報告会は年1回以上開催することを決めている。行政懇談会も年1回開催するべきではないか。

③懇談会で町職員有志による定住促進プロジェクトチームの取り組みが進んでいるという報告があった。人口激減の歯止め策として期待される。プロジェクト会議の内容、成果

答

定本町長

および今後の計画は。①来年度の予算編成方針は、整い次第まず議会に報告したい。選挙があるので暫定的な予算になる。

②町長就任1〜2年目で計画立案、3〜4年目で実行してきた。その実績を4年に1回報告したい。要請があればどんどん出向していきたい。

答

岡部副町長

③会議では、人口減少の原因や解決策を考える中で、今できること、しなければならぬことを吟味している。10月には後楽園でのイベントに参加。25年3月には久米南町と合同で移住体験ツアーを計画している。また、25年度早々には講演会やシンポジウムも予定している。定住促進プランの策定、施策はスピード感を持って実行する。



地域行政懇談会に集まった大勢の皆さん

フェイスブックの活用を

問

世界最大のアクセス数を誇るフェイスブックを活用する自治体が増えている。代表されるのは佐賀県武雄市の取り組みである。

答

鈴鹿情報交通課長 現在、みさきタ

市のホームページをフェイスブックに変えたことでアクセス数が40倍に増えたそう。また、災害時の連絡にも有効だ。本町でも研究中と聞いているが、今後の計画は。

答

鈴鹿情報交通課長 美咲町公共交通

あり方会議で研究・協議している。また、旭地域の倭文西地区320世帯にアンケートをお願いした。その結果も参考にし、それぞれの地域に合った交通システムを考えたい。

デマンドバスの運行を

問

以前から要望に応じて希望地に運行するデマンド交通システムを提案しているが、町長の考えは。

答

定本町長

デマンド交通は他の自治体で運行されているが、問題点が多い。本町でうまくいく方法があれば実施したい。

質問

期日前投票の改善を

先進地の事例を

調査して協議する

答弁



金谷高子 議員

問

期日前投票を行う際には、受付窓口で宣誓書に住所、氏名、投票日に投票に行くことができない理由を記入する必要があり。そのため緊張するとの声がある。入場券を持って当日のように投票ができないかとの声が出ている。

答

入場券の裏に宣誓書を印刷するなどの改善はできないか。
岡田選挙管理委員長
先日の知事選では、



期日前投票はやりにくい、改善を

投票者数の37%が期日前投票であった。期日前投票の重要性はよく理解している。改善点の導入については先進地の事例を調査し、選挙管理委員会で協議したい。

町長に2期目の町政を問う

問

人・地域・健康づくりが3本柱と
いうことだが、2期目

答

「住んで良かった美咲町」「これから住み続けたい美咲町」「安心・安全な美咲町」について4年間では無理があったかという面もあるが、2期目の町政を担うことができるならそれらを継続、実現を目指したい。

定本町長

美咲町のさらなるPRを

問

旧片上鉄道の観光客を鉱山資料館へつなぐことはできないか。

答

清水柵原総合支所
産業建設課長

同鉄道吉ヶ原駅の線路やプラットフォームを約160メートル延長し、「新美咲駅（仮称）」を設置する。26年3月に工事を終える予定。

答

矢木産業観光課長
保存会も鉱山資料館のPRを全国各地でしている。津山から鉱山資料館、片上鉄道へのツアーを今後計画していこうとJR西日本と協議している。

問

食堂かめつち。
の『たまごかけごはん』の食べ放題にある程度の制限はできないか。

答

矢木産業観光課長
食べ放題は観光客を呼ぶメインであ

り、続けていきたい。

通学路の

総点検の結果は

問

8月の通学路の総点検は、どのよう
に実施し、どの程度
改善が必要であったか。

また、通学路の防犯灯をLED化しているか。安価なリース方式で一斉に交換してはどうか。

答

泉教育長

緊急性があるなどの10カ所を抽出し、緊急合同点検を実施した。その結果、拡幅工事や看板、カーブミラーなど設置の予定である。教育委員会管理の90基ある防犯灯を一斉に交換すると130万円から150万円必要になる。今年度、10基の交換を予定しており、徐々に進めていく。

答

定本町長

リース方式の試算はしており、年次で行いたい。

質問

懸案となっている
町道改良の今後は

順次進めるよう

計画している

答弁



江原耕司 議員

問 「新城日向から長原線区間の待機場所」今風呂から榎本地区の道路改良「加美橋からわらびの信号までの通学路」中央中学校周囲の歩道、通学路の街灯」などは今後の改良工事の予定に入っているか。

答 池本建設課長 新城日向から長原線までは改良工事が難しく、待避所の設置を考えている。今風呂から榎本地区への道路改良について

は、26年度からの中間総合整備事業の中に予算を計上しており、順次進めていきたい。加美橋からわらびの信号までは、26年度から進めたい。

中央中学校周辺は、亀橋の拡幅工事後、街路灯を整備したい。

答 定本町長 加美橋からわらびの交差点にぬける歩道新設は新城口踏切との兼ね合いで、26年度からとは言い切れない。

問 新城日向から長原線区間の待機場所は、2カ所は必要だ。また、今風呂から通じる排水溝が小さいため、雨水が抜けず改良の要望が出ていると聞



地域からの要望にどう応えていくのか

く。回答はどうなっているのか。
答 池本建設課長 排水溝については、どの事業に該当するか検討中であり、検討後回答したい。

新城口踏切
拡幅工事は
進展したか

問 新城口踏切の計画はどこまで進んだか。

答 池本建設課長 今後、県とJRの協議が行われ、27年度から工事に取りかか

生活道路整備事業
の補助金を増額
できないか

問 家のそばまで救急車が入れる程度の生活道路は必要である。生活道路整備事業の補助金限度額を200万円から増額する考えは。

答 池本建設課長 現状の200万円が適正と考える。

問 空き家を購入しても、十分な道幅がない場合もある。採択基準を少し和らげることはできないか。

答 定本町長 生活支援道路という私有地の中に町の予算である補助金を投入することは、個人の財産を増やすことにつながる。

平等性、整合性の観点から考えると現行どおり200万円が限度と考える。

質問
保育園児の健康に配慮を

環境づくりに力を注ぐ
答弁



貝阿彌幸善 議員

答 高田住民課長
あるか把握しているか。
月に1回以下の頻度である。

問 定住促進、子育て支援の面から考えた場合、安心、安全な保育を願う町民のニーズに対応し、行政を充実させていく考えは。

答 定本町長
現在、嘱託医師で十分対応できている。財政的なことを考えながら、まず、担任を正職員にしていく。保護者、地域、保育園と連携しながら、将来を担う子どもたちがすくすくと育つ環境づくりに努めていきたい。

問 保育園に看護師・保健師の配置について、法律や町規則はあるか。また、今後配置する考えは。

答 高田住民課長
児童福祉法の規定に基づき、入所児童の福祉を確実に保障するため、児童福祉施設の最低基準は制定されている。看護師・保健師の配置は法的にも、町規則でも規定されていない。

問 園児のケガ、病気など、どの程度

振興基本計画の検証は

問 教育・文化、産業振興基本計画の検証は進んでいるか。

答 遠藤企画財政課長
無作為に2千人を抽出し、アンケートを実施した。12月21日



子どもの笑顔はみんなで守りたい

は、岡山県のネットパトロールから、問題点の指摘があり、十分対応していく。

答 矢木産業観光課長
人権教育については、小学校も含め中央中学校を中心に、県指定を受け、県教育の振興を図っている。現時点で大きな問題はない。

問 振興計画の継続、打ち切りなど精査が必要である。振興計画は何%程度達成できたか。

答 定本町長
事業がさまざまであり、達成率を示すことは難しい。今回のアンケートを参考に25年度からの振興計画を策定していく。

答 山下生涯学習課長
生涯学習振興計画は策定できていないが、教育振興基本計画で代用したい。

問 公民館活動は、高齢者、婦人を対象とした学級を年に10〜12回開

催している。図書館については司書の会議を行い、運営について検証を進めている。体育、文化の面でも活発な活動がなされている。

答 泉教育長
5、6年生を中心に国際化に対応した英語の授業を行っている。1、2年生からも希望があり、将来的には対応したい。

IT関係について

質問

安心生活創造事業の
現状と展望は

社協と連携し

積極的に推進する

答弁



岡田 壽 議員

このサポート店を確保できた。
本年度も継続事業と

して、国庫補助を得た。社会福祉協議会に事業を委託し、サポーター活動の定着と買い物サロンの普及活動を展開している。
今後も社会福祉協議会と協力し、小地域ケア会議などで、支援が必要な人に啓発していく。

答

定本町長

3年間は国費で運営したが、今後は利用者の会費も含めて安心生活創造事業に町も関与しながら推進する。

どう生かすのか

中山間総合
整備事業

問

26年度から15億円規模で実施する中山間地域総合整備事業の計画と内容は。

答

矢木産業観光課長 町振興計画の農林業部門、農業生産基盤の整備に基づいて事業計画を立てている。

答

池本建設課長

- 事業内容は、
- ▽用水路の改修13地区
 - ▽農道整備11地区
 - ▽ため池改修3地区
 - ▽暗渠2地区
 - ▽圃場整備1地区
 - ▽集落道整備10地区
 - ▽排水路整備3地区
 - ▽防火水槽設置4地区
- などの施設を15億円の事業費で整備する計画

である。

人づくり、
地域づくりの
課題と対策は

生活に密着した施策として、人・

問

地域・健康づくりの3本柱を軸に行政運営を行った。人づくり・地域づくりの課題と対策を問う。

答

定本町長

多額の予算を必要とする大きな事業は、町振興計画に沿って実施する。

各地域で習慣や文化は異なり、それらを一律化することなく、地域の特性を生かしながら活動することが人・地域づくりにつながる。一方、地域差があるため一体感づくりは難しいが、全地域で共通する人・地域・健康づくりには行政が主体的に関与し、一体感づくりを進めていきたい。

問

買い物に困っている人や見守りが必要な人の支援をする「安心生活創造事業」の現状はどうか。

3年間だけの国庫補助事業は終了し、その後は寄付金で事業を継続する計画であったが、今後の予定は。

答

村島健康増進課長

21年度から3年間モデル事業として取り組んだ。その間に200人の生活支援サポーターを養成し、久米郡商工会と連携して多



みんなで楽しく買い物サロン

質問 空き家対策の 取り組み強化を 活性化センターで 調査を進める 答弁



岩野正則 議員

問 300件の空き家の調査状況はどうか。

田舎暮らし体験に空き家の提供が出来ないか。

答 遠藤企画財政課長

活性化センターで物件の内容調査を実施している。現在、中央地域6件、柵原地域2件、合計8件の空き家情報を町のホームページに掲載している。追加の空き家情報は条件が整いしだい、美咲町のホームページに掲載していく。

田舎暮らし体験の空き家の提供は考えていない。

問 地元の町職員、

区長と連携してさらなる協力、調査依頼を考えるとどうか。

答 定本町長
活性化センターの目的は空き家対策である。

役場の中での取り組みは、副町長を中心とした、定住促進プロジェクトを進めている。

問 先進地の取り組みも研究してはどうか。

定本町長

勝山の街並みを視察してきた。商店街の管理、運営を地元が協力しながら頑張っている。

美咲町も、研究しながら努力していく。

美咲町活性化のプロジェクトとは

問 役場のプロジェクトチームの状況はどうか。

若者、シニア、主婦などを巻き込んだ取り組みを期待する。

安全、安心な住みやすい町づくりに向けて、郵便局員、新聞配



亀甲商店街に設置された「美咲町地域活性化センター」

達員、消防署など各種の団体とさらなる連携ができないか。

答 岡部副町長

定住促進プロジェクトチームで定住促進プランの策定を考えている。

3月に移住体験ツアー

区しよりにしの油揚げ、倭文西まちづくり協議会など地域をあげて頑張ってもらっている。

また、国の事業で、地域おこし協力隊の受け入れ制度がある。美咲町の外から人材を得て、地域力を高めていく仕組みで、県内では美作市、西粟倉村、奈義町が実施している。

安全な町づくりは、現在、美咲町の自主防災組織率が67・44%。いざという時、孤立する住民がいないようにネットワークづくりが重要である。

高齢者の見守りは、町が事業者と連携して、地域の高齢者や障害のある方を見守る見守りネットワーク事業の取り組みを始めた。

今後も包括支援センター、社会福祉協議会などと連携して安全、安心の暮らしを進めていく。

質問

原材料支給予算の増額を

補正予算で

対応していく

答弁



山本宏治 議員

1ト製品、樹脂類の製品が支給される。原材料費の限度は20万円以内である。

両事業ともに1会計年度1回の支給を原則とし、12・5%の受益者負担が必要である。

赤線道、農業用水路などが対象となる。生コンなどの他にコンクリ

問

各地域の要望、実施状況はどうか。

問 町道、農道、施設へ通じる道などの未改良部分については、原材料支給を利用しながら地域の基盤整備が行われている。原材料支給の要件はどのようなになっているのか。

答 池本建設課長 町道関係では、事業生活に使う道路、公共的施設へ通じる道路が対象となる。生コン（10㎡まで）、側溝、碎石が支給される。農業関係では、里道、



材料支給で住民が自ら“道づくり”

答

池本建設課長 21年から24年の支給は次のとおり。

	町道関係		農道関係	
中央地域	20件	約230万円	18件	約250万円
旭地域	32件	約423万円	35件	約514万円
柵原地域	28件	約225万円	21件	約193万円

問

要望の要旨、実施状況の内容は。

答

池本建設課長 町道に認定されている道について負担金なしで、行ってほしいという要望があった。農道のコンクリート舗装、側溝の蓋、グレーティング、碎石などを支給し、地元で入れてもらうことがある。

問

原材料支給の政策には、地域の活力を引き出す考えも含まれているのではないかと。地域の人たちの自主的な活動により、地域が元気になることは、3本柱の中の地域づくりには当てはまる。

また、道路整備ができていれば、田舎暮らしがしたい人、都会から帰って来る人も増えるのでは。

このような観点から予算の増額を求めます。

答

定本町長

それぞれの地域の特徴や地形の違いが実施状況に反映されているんだと感じた。

地域からの申請があれば、担当課と十分に調査、検討の上、地元の要望に添えていきたい。

予算増額については、必要があれば、補正予算を組んで対応していく。

どうなった?? あの質問

一般質問 追跡調査

議員から町執行部への一般質問で何が変わったのか。
23年度の質問から追跡調査を報告します。

質問 みさきテレビで教育番組の放映

大分県豊後高田市では、現役の教師がテレビ講座を行い学力向上に効果が出ている。
みさきテレビで教育番組の放映ができないか。

答弁

子どもたちの学力向上に向けた取り組みは重要である。
来年度から教育番組の制作・放映ができるよう検討する。

その後

平成25年1月7日から「みさきっ子テレビ教室」の放映がみさきテレビで開始された。



質問 猟銃免許取得費用助成制度の創設

有害鳥獣を駆除する猟友会会員の減少と高齢化が進んでいる。
若手育成のための手段として猟銃免許を取得する際に必要となる費用に助成金を交付する考えはないか。

答弁

猟銃や罟の免許取得にかかる費用はある程度負担する方向で考える必要がある。

その後

平成23年4月から狩猟免許取得補助金制度が創設され、必要経費の約50%が補助されることになった。

質問 国際交流事業の進展

近年、国内における国際交流事業は英語圏との交流が活発に行われている。
本町はどう対応するのか。



答弁

英語圏の中でニュージーランドに絞り県国際交流課とともに交渉している。
前向きに進めていく。

その後

平成24年7月、ニュージーランドのテムズ町へ12人の中学生がホームステイを実施した。
これを25年度以降も継続するため基金3,000万円が積み立てられた。

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

久米郡養護

老人ホーム組合 (静香園)

(津山市、久米南、美咲町)

11月5日、定例会を

開催し、24年度一般会計補正予算八百八十四万円、特別会計補正予算七十二万円、23年度決算認定、規約変更についての専決処分など5議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域

資源循環施設組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、美咲町)

◇11月12日、定例会を

開催し、23年度決算認定、一般廃棄物処理施設設置条例制定、工事請負契約の締結など3議案を審議、賛成多数で可決した。

報告事項

◎津山圏域クリーンセ

ンター施設建設工事請負契約を八十億四千三百万円で日立造船株式会社(大阪市)と締結した。

◇12月27日臨時会を開

催し、工事請負契約について審議、賛成多数で可決した。

報告事項

◎津山圏域クリーンセ

ンター敷地造成工事請負契約を十五億三百二十八万五千円で株式会社大本組(共同企業体代表・岡山市)と締結した。

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)

11月22日、定例会を

開催し、23年度決算認定、24年度組合会計補正予算二千五百二十一万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

津山広域事務組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)

11月22日、定例会を

開催し、23年度決算認定など2議案を審議、全会一致で可決した。

津山農業

共済事務組合

(津山市、鏡野、久米南、美咲町)

11月22日、定例会を

開催し、23年度決算認定を審議、全会一致で可決した。

岡山県中部環境

施設組合

(真庭市、美咲町)

12月26日、定例会を

開催し、23年度決算認定、24年度一般会計補正予算百六十万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

勝央町議会から議員4人が視察で来町

12月5日に勝田郡

勝央町議会から4人の議員が来町された。現在、勝央町議会では議会改革に取り組んでおり、他町の議会運営方法についての知識を深めるための視察である。勝央町議会が行っている「一括質問・一括

答弁方式」と美咲町議会の「一問一答方式」の違いを見極めることが目的の一つであった。

各議員の感想

○質問者と答弁者が対面式で議論する方法は参考になった。

○質問者と執行部の距離が近く、変な緊張感を持たずにやりとりができるように思う。

○その場で質問する際に聞き忘れる

こともあるため、議長の補足質問は有効であると感じた。

○一問一答方式は、質問

する側も答える側もわかり易く良かった。



議会を傍聴される勝央町議会のみなさん



町民の皆さんこんにちは
サークル紹介第16回
あの懐かしい味をもう一度

てんすい さと 天水の郷クラブ

豆腐部会



町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループと連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

天水の郷クラブは4年目を迎えますが、豆腐部会は平成24年1月から活動しています。

どんな活動をしていますか

現在、天水の郷クラブは米部会・野菜部会・豆腐部会があります。豆腐部会は前田豆腐店の懐かしい故郷の味、油揚げ・豆腐作り復刻に取り組んでいます。

メンバー構成は

大井和地区に住む50～70歳代の女性9人で頑張っています。

活動を始めたきっかけは

昔食べていた味がなつかしく、「食べてみたい」との声が多く聞こえ、特産品になればと思い始めました。

楽しいことは何ですか

油揚げの生地を油で揚げた時に、大きく膨らんだ状態をみると、とてもうれしくなります。

これからの活動は

美咲町産の大豆100%使用し、安心でおいしい食材として、一人でも多くの人に食していただけるように頑張ります。

議会に一言

前田さんが使っていたとても古い機械を借りて活動をしています。今後の量産を考えますと製造場所・機械等が必要になります。ご支援をよろしくお願いいたします。

地産地消で伝統の味を継承して下さい。

編集後記

昨年暮れの総選挙で政権が変わりました。地方行政の現場に関わっている私たちとしても、政府の政策に期待したいものです。

少子化・高齢化の中で、教育・福祉・医療にどう対応できるのか。過疎化の大きな要因である生活基盤の衰退に歯止めをかけるための産業振興策にどんな方向性が出されるのかなど…。

これらの課題に対して今定例議会でも、多くの質問・提案が提出されました。予算審議、一般質問、その他の記事にも多くの住民の皆さんに目を向けていただければと思います。

(小島記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 小島 洋征

岩野 正則

金谷 高子

草苅 良明

松島 啓